

こんにちは **エスプリ訪問看護ステーション** です



生活と医療を結びつけ利用者と家族が望む在宅療養を共に思い描く

★ 緩和ケアについて★

これまでは緩和ケアを『看取りのための看護・医療』にとらえ、終末期である患者様に関わってきました。がんの痛みや、さまざまな症状を和らげる治療が**早期から行われることが重要**で、QOLを大切に**して療養生活を可能な限り快適にするため、病気の時期や療養の場所を問わず、いつでもどこでも提供されることが必要である**とされ、緩和ケアに関する考え方の変化に驚いています。

★八尾市立病院での緩和ケア研修に参加し**目からうろこが落ちた**内容を紹介します。

①**がん骨転移の緩和的対処法**について、整形外科では適応によっては**手術が治療の選択肢の一つである**。鎮痛剤による除痛、局所安静や装具療法、放射線治療、化学療法も含めた全身治療と**手術療法**を組み合わせる治療を考えることが大切である。

②**心不全の緩和ケア治療**においては、心不全そのものへの治療と並行して、心不全による**呼吸困難感や疼痛に対する症状緩和**として**モルヒネ**が使用される。DNAR(心肺蘇生を行わない)指示は、心停止時にのみ有効で、通常の医療・看護については別に議論するべきものである。

この研修を通して、これからの訪問看護では、『がんや心不全の治療開始と並行して緩和ケアが行われ、その人らしい生き方を支え、一日でも長くその人らしく生きられることにつながり、利用者様を支える家族やその周りの方たちとの連携を取り合っ**てケアができること**』を理想として、実現していきたいと思いました。 (藤中 筆)

～訪問看護のターミナルケア加算が、癌末期に加え、末期の心不全も対象となっています。～

エスプリ訪問看護ステーション

〒581-0884 八尾市恩智南町5丁目103-2

(株)エスプリ介護 併設：居宅介護支援・訪問介護・通所介護

Tel 072-940-1006 Fax 072-940-1007

e-mail esrikaigo@gol.com

QOL を大切に、その人らしい生き方を支え在宅での看取りも支えていきます
24時間連絡・対応体制をとっています